

科目名	産業・組織心理学 特殊研究	担当者	タナカ ケンイチロウ 田中 堅一郎	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	----------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>職場で従業員が行う職務行動のなかで、自分の「持ち場」ではないが自発的に行う仕事を組織市民行動という。またその逆に、職場のパフォーマンスを阻害し悪化させる行動を組織における反社会的行動という。本講義では、これらの行動の概要、規定要因、研究の最新動向の3点を中心に考察することを目的とする。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に即して英文専門誌を素早く検索できるようにする。 ・産業・組織心理学に関する邦文の学術書籍のみならず、英文専門書や専門誌 (<i>Journal of Applied Psychology</i>, <i>Academy of Management Journal</i> 等) を、比較的短期間で読みこなせるようにする。 		
学修方法	<p>レポート課題に沿って、テキストや参考図書を基に、自分自身で各々の課題における題材を取り上げ、その題材に対して、必要な文献の検索を行い、それに対する考え方をレポートとしてまとめる。レポート作成の際の注意点や留意点については、manaba folio のスレッドに掲示する。</p>		
スケジュール	<p>前期：教材1のレポート課題1の草稿は7月末、課題2は8月末を目処に提出できるように学習をすすめる。いずれの課題も9月中旬までに最終稿を提出する。</p> <p>後期：教材2のレポート課題1の草稿は11月中旬、課題2は12月中旬を目処に提出できるように学習を進める。いずれの課題も2018年1月の課題提出締切日までに最終稿を提出する。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	79%	最終提出期限内に提出されなかったレポート課題は、(原則的に)0点となります。教材の引き写しは評価の対象外とします。
	平常評価	21%	最終提出までにレポートの草稿の送信・返信を行ったかどうかで評価します。草稿を一度も出さずにいきなり最終稿を出された場合、そのレポート課題の評価点は79点以下しか得られません。
履修者への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれのレポート課題についても、本文に引用した文献名は、かならず文末の文献リストに掲示してください。その際、本文に引用した文献(引用文献)と、本文には引用しなかったがレポート作成に際して参考にした文献(参考文献)とは仕分けて示してください。 ・レポート課題2については、英語の翻訳能力を評価するわけではありませんが、日本語としてあまりに不自然なレポートは評価が低くなることは承知しておいてください。くれぐれも、かつて大学入試の受験英語でやった愚直な翻訳のような文章にはしないで下さい。 		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： オーガン, D, ポザコフ, P., マッケンジー, S. 上田 泰 (訳) 教材名： 『組織市民行動』(白桃書房, 2007年) ISBN:978-4-56-126458-3 3,800円+税 本書は、組織市民行動に関する2006年時点での最新の研究を紹介し、著者らが行なった組織市民行動の研究を紹介したものである。8章から構成されており、OCB(組織市民行動)の概要とそれが組織に及ぼす影響について述べられている。に分けられ、各章のタイトルは「親切的サム」「OCBの研究:その出発点、構造、分析フレームワーク」「組織理論に見るOCB」「態度と属性にかかわるOCBの先行要因」「OCBに対するリーダーシップと職場環境の影響」「業績評価と業績判断に対するOCBの影響」「組織の業績と成功に対するOCBの影響」「人的資源管理者やOCB研究者への含意」となっている。
	経営行動科学学会 編『経営行動科学ハンドブック』(中央経済社, 2011年) ISBN:978-4-50-268750-1 9,200円+税 田中堅一郎『従業員が自発的に働く職場をめざすために 組織市民行動と文脈的業績に関する心理学的研究』(ナカニシヤ出版, 2004年) ISBN:978-4-88-848893-8 5,200円+税 古畑和孝・岡隆 編『社会心理学小辞典 増補版』(有斐閣, 2002年) ISBN:978-4-64-100218-0 2,300円+税
履修上のポイント	本文だけでなく引用文献のリストにどのような論文があるかチェックしてもらいたい。心理学用語がわからない場合は、参考文献に示された辞典を引いて調べる。
レポート課題 1	基本教材1について、2章から8章の各章を要約し、全体についてのコメントを述べる。 留意点: 各章を平均800字を目安に要約し、全体についてのコメントを400字程度で行うこと(合計6,000字で収めること)。
レポート課題 2	基本教材1の2章から8章の文中に引用されている文献のうち、自分の研究テーマと関連あるかもしくは興味関心のあるものを2編選び、各々の論文の内容を3,000字~4,000字でまとめる。 留意点: 学術論文データベース(例えば EBSCO, Proquest, Science Direct)を用いると、効率よく論文を探すことができる。ただし、データベースに登録されていない論文もある。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 田中堅一郎 (著) 教材名： 『荒廃する職場/反逆する従業員 職場における従業員の反社会的行動についての心理学的研究』(ナカニシヤ出版, 2008年) ISBN:978-4-77-950281-1 7,500円+税 本書は、組織における反社会的行動と職場いじめを中心に最新の研究を紹介し、著者自ら行なった実証的研究を紹介したものである。序論から9章と補遺、付録から構成されている。内容は、理論編と実証編に分けられ、各章のタイトルは「序論」「組織における反社会的行動研究のこれまで」「荒廃する職場の犠牲者(その1)」「荒廃する職場の犠牲者(その2)」「組織報復行動についての研究」「組織における反社会的行動の実態を探る」「組織における反社会的行動の測定尺度作成とその規定要因を探る」「再び組織における反社会的行動の規定要因を探る」「職場の迫害に関する研究」「荒廃する職場と反逆する従業員をどうするか」「補遺: リストラは職場に何をもたらしたか」「あとがき」となっている。
	経営行動科学学会 編『経営行動科学ハンドブック』(中央経済社, 2011年) ISBN:978-4-50-268750-1 9,200円+税 古畑和孝・岡隆 編『社会心理学小辞典 増補版』(有斐閣, 2002年) ISBN:978-4-64-100218-0 2,300円+税
履修上のポイント	本文だけでなく引用文献のリストにどのような論文があるかチェックしてもらいたい。心理学用語がわからない場合は、参考文献に示された辞典を引いて調べる。
レポート課題 1	基本教材2の2章から9章の各章および補遺を要約し、全体についてのコメントを述べる。 留意点: 各章を400字を目安に要約し、全体のコメントを400字程度を目安に、合計4,000字~5,000字でまとめる。
レポート課題 2	基本教材2の文中に引用されている論文について、自分の研究テーマと最も近い話題と思われるものを2編選び、各々の論文内容と自分の研究テーマとの関連性を(日本語で)3,000字~4,000字でまとめる。 留意点: 学術論文データベース(例えば, EBSCO-host, Proquest, Science Direct)を用いると、効率よく論文を探すことができる。ただし、データベースに登録されていない論文もある。